

# 事後評価箇所選定理由書及び評価軸調書

## 【事業名、地区名、事業概要】

事業名：特殊改良事業

路線名又は箇所名：一般国道498号 鳴瀬橋

事業の概要

工期：平成8年度～平成14年度

事業費：1,454,000千円

事業内容：事業延長 L = 433m

橋梁 N = 1橋 (L = 63m)

道路改良 L = 370m

## 【評価箇所選定理由】

道路課では、「安全で安心な道づくり」「交流を支える道づくり」「活力がある地域を育む道づくり」の3つの基本方針により施策展開を行っているが、限られた予算の中、更なる「選択と集中」を行い、多くの高い効果が期待できる「幹線道路ネットワークの整備」と「交通安全対策」を中心に整備を推進している。

本路線は、鹿島市と武雄市及び伊万里市を結び、県西部地区の産業支援、主要都市間の交流を支える重要な幹線道路であり、鹿島市や武雄市の南部地域から九州横断自動車道の武雄北方インターチェンジへのアクセス道路である。

本事業により架け替えを行った鳴瀬橋は、昭和42年に架けられており老朽化が進み、幅員も狭いうえに歩道も無く、安全で円滑な交通に支障をきたしていたため、現在の基準に適応した橋梁の構造、道路幅員の拡幅及び歩道設置を行ったものである。

このように、本事業は国道498号のボトルネック箇所を解消し、安全で安心かつ交通の円滑化を行った事業であり、佐賀県の道づくりの基本方針に合致した事業であるということから、事後評価箇所として選定した。

## 【評価軸】

### トータルデザイン(プラン)

本事業により、鹿島市や白石町及び佐賀南部地域を結ぶ幹線道路としての役割を一層強固なものにすると同時に、地域住民の生活道路としての安全・安心な生活環境の確保に寄与する道路としての役割も大きいものがあると考えられる。

< 論点 >

- ・交通量の推移、安全性の確保、関係者、受益者の意識

### 維持管理のあり方

本事業により架け替えを行った橋梁を含み、県が管理する道路の橋りょうについては、平成21年度に策定した「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、定期的な点検を行い、早期の段階での損傷を発見し、予防的な修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化並びに維持管理費の縮減を図っていくこととしている。

**【県内道路の維持管理内容】**

- ・ 定期的な道路パトロール（２回／週）
- ・ 落下物の撤去
- ・ 動物の死骸処理
- ・ 局部損傷（ポットホール等）の修繕 等

**【橋梁の維持管理内容】**

- ・ 定期的な橋梁点検（１回／５年）とこまめな補修

< 論点 >

- ・ 橋梁の定期的な点検による効率的な維持管理

**地域住民との関わりについて**

当事業に必要となる事業用地について、おおむね地元の協力を得ながら事業を進めることが出来たが、一部地元との合意形成がうまく図れず、用地取得が難航し供用が遅れた箇所があった。

< 論点 >

- ・ 地域住民との合意形成